

令和7年度 福島中学校 シラバス

学 年	3年	教 科	技術・家庭科(技術分野)	担 当	鈴木 敏夫	時 数	17.5
-----	----	-----	--------------	-----	-------	-----	------

◆教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ,ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して,技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを旨とする。
--

◆評価の観点及びその

観点	知識・技能 【知】	思考・判断・表現 【思】	主体的に学習に取り組む態度 【主】
趣 旨	生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに,それらに係る技能を身に付け,技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し,解決策を構想し,実践を評価・改善し,表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて,課題の解決に主体的に取り組んだり,振り返って改善したりして,技術を工夫し創造しようとしている。

◆年間指導計画

月	領域	単 元 名 【 時 間 】	学習内容	観点別評価の規準	評価方法
4月	生物育成の技術	ガイダンス 【2時間】	・技術分野の学習の見通し ・学習内容の紹介調べ学習 ・タブレットの活用方法実習 ・SDGsの取組実習	【知】(知識・技能)「何を理解しているか、何ができるか」 【思】(思考、判断、表現)「理解していること・できることをどう使うか」 【主】(主体的に学習に取り組む態度)「粘り強い取組を行おうとしている」「自らの学習を調整しようとする」態度	ワークシート レポート
5月					
6月					
7月	生物育成の技術	生物育成の技術 原理・法則と仕組み 生物育成の技術による問題解 【5時間】	・生物育成の技術の目的を知る。 ・生物育成の技術についてまとめ実習 ・大根の育成を行い,育成環境を調節する技術を体験実習 ※大根の栽培	【知】生物を育てる技術の目的について理解している。 【主】主体的に生物育成の技術について考えようとしている。 【思】育成する作物に適した環境条件について考えている。	ワークシート ペーパーテスト 観察レポート 栽培結果 振り返り
8月					
9月	計測・制御のプログラミングによる問題解決	計測・制御システムとは何だろう 【6時間】	・身の回りにある計測・制御システムを調べる。調べ学習 ・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を調べる。調べ学習 ・計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れを調べる。調べ学習	【知】・計測・制御システムの基本的な構成を理解している。 【知】計測・制御システムにおけるプログラムの役割を理解している。	ワークシート 課題データ 振り返り
10月					
11月					
12月					

月 1 月 2 月 3 月		問題を発見し, 課題を設定し計測・制御システムのプログラムを制作しよう【4.5 時間】	・計測・制御のプログラミングによって解決できる問題を見つける。 グループ学習 ・発見した問題を解決するための課題を設定する。 実習 ※scratch を活用したプログラミング学習	【思】「技術の見方・考え方」を働かせて, 問題を発見し, 自分なりの課題を設定する力を身に付けている。	ワークシート 課題データ 振り返り
---	--	---	--	---	-------------------------